

2025年9月23日

amu定例

招待済み s18112041@gmail.com louju.is.there@gmail.com 安部和音

kazuya.sano@torch-inc.jp

添付ファイル amu定例

会議の録画 文字起こし 録画

まとめ

佐野和哉、安部和音、Louju、高橋英信が参加した会議では、ホテル建設に向けた多角的なリサーチとデザインに関する議論が中心となりました。特に、想定顧客である旅行者のニーズの深掘り、無人ホテルの受容性、統計データと実際のギャップ、来訪者の動機、そしてアマネクホテル別府の評価などについて意見が交わされました。また、佐野和哉はリサーチの目的と仮説の立て方、デザインリサーチの概念について言及し、Loujuは暖簾のデザインとホテルの外観パースについて高橋英信に依頼しました。

詳細

- 想定顧客の深掘り 佐野和哉は、想定顧客である旅行者が旅行に何を求めているのかを深く掘り下げる重要性を強調しました ([00:00:00](#))。特に、別府を旅行先として選ぶかどうか、選ぶとしたらどのような場合か、どのような旅行をしたいかといった点を掘り下げたいと考えていました ([00:01:20](#))。
- 無人ホテルの受容性 安部和音は、友人ホテルと無人ホテルでは、友人ホテルの方が好まれる傾向があることを共有しました。しかし、男性や価格重視の層、使い方次第では無人ホテルも選択肢に入ることでした ([00:04:06](#))。
- インタビューの目的と開示レベル 佐野和哉と安部和音は、インタビューにおいて、事前に自分たちがホテルを建設する意図を伝えるべきかどうかについて議論しました。安部和音は誘導になることを懸念し、隠す方が良いと考えていましたが、佐野和哉は正直に伝えても回答に大きな変化はないと示唆しました ([00:05:00](#))。
- グループインタビューの課題 安部和音は、ゲリラインタビューで3人組のグループに同時に話を聞こうとしたが断られることが多かったと述べました。佐野和哉は、断られるのは普通のことだと理解を示しました ([00:06:46](#))。

- ターゲット層の具体像 安部和音は、ターゲットとしている20代後半から30代前半の女子旅層の具体的なニーズについて、価格や旅行で何をしたいか(美味しいものを食べたい、映える写真を撮りたいなど)を掘り下げていきたいと話しました([00:08:19](#))。
- 統計データと実際のギャップ 安部和音は、別府市街での外国人の割合が統計データよりもはるかに多いと感じたことを共有しました([00:10:41](#))。また、福岡県民が25%、その他九州から15%と、意外にも近隣からの来訪者が多いことを指摘し、車でのアクセスがしやすい別府の特性を考慮すべきだと述べました([00:11:43](#))。
- 来訪者の動機と背景 佐野和哉は、海外からの観光客が新幹線乗り放題パスを利用して東京、京都、広島などを巡る傾向があることに言及しました([00:19:49](#))。安部和音は、ゲリラインタビューで出会ったオーストリア人が別府に地熱と温泉を求めて来訪したこと、そして彼が研究者である可能性を示唆しました([00:20:51](#))。
- アマネクホテル別府の評価 Loujuと安部和音は、アマネクホテル別府について、ウェブサイトでは伝わりにくいが、実際は非常にデザインが良く、特にロビーや外観が印象的だと評価しました([00:23:05](#)) ([00:25:46](#))。Loujuは屋上プールがあることを指摘し、安部和音はリーズナブルな価格帯でありながら、高品質な宿泊体験を提供していると考えていました([00:27:00](#))。
- アマネクホテル別府の近隣アート作品 佐野和哉と安部和音は、アマネクホテルの近くで行われている光のアート作品について話し合いました([00:28:13](#))。これはパノラマティックスの斎藤氏によるもので、プロジェクト1台で実現可能であり、コストパフォーマンスが良いという点に触れました([00:29:25](#))。
- ゲリラインタビューと今後のリサーチ方針 佐野和哉は、現時点でのリサーチデータだけでは明確な結論が出にくいとし、仮説を立ててインタビューを深めるべきだと提案しました。安部和音は、佐野和哉にインタビュー協力を依頼するか、自分で実施するかを検討すると述べました([00:34:45](#))。
- 暖簾のデザインと照明計画 Loujuは、プロジェクトのロゴデザインと暖簾の制作を進める意向を示しました([00:35:46](#))。安部和音は、上からの光を当てる照明計画があるため、暖簾の素材やデザインが重要になると説明し、建物との調和を重視したい考えを共有しました([00:36:57](#))。
- リサーチの目的とアプローチ 高橋英信は、統計データを見ても何をすべきか分からず悩みを打ち明けました([00:44:26](#))。佐野和哉は、リサーチの目的を明確にすることの重要性を強調し、20代30代の女性グループが旅行に何を求めているのか、なぜ別府を選ぶ可能性があるのかを知ることが最重要だと述べました([00:46:04](#))。定量データとしては消費行動や平均年収、定性データとしてはゲリラインタビューや知人へのヒアリングが有効だと示唆しました([00:47:15](#))。
- 仮説の立て方とリサーチ方法 安部和音は仮説を立てるのが苦手だと述べ、佐野和哉はそれは対象の具体像が見えていないためだと指摘しました([00:48:35](#))。佐野

和哉は、ゲリラインタビュー、デスクリサーチ、SNSでの情報収集、知人へのヒアリングなど、様々なりサーチ方法があると提案し、経験を積むことで改善されると助言しました ([00:51:49](#))。

- インサイトの深掘り佐野和哉は、別府に訪れる20代女性のインスタグラム投稿を毎日見ることで、プロのクリエイターが「女子高生像」を作り上げる苦行を行った例を挙げながら、ユーザーの美的感覚や好みを深く理解することの重要性を強調しました ([00:55:10](#))。安部和音は、このアプローチがリサーチのリテラシーを向上させると述べ、高橋英信も「うちなるベップ女子」というコンセプトの有用性を認めました。
- デザインリサーチ 佐野和哉は、デザインリサーチについて、その定義がまだ確立されていないことや、デザイン思考的なリサーチ手法に近いと説明しました ([00:56:29](#))。安部和音は、デザインリサーチがグラフィックデザインとは全く異なる分野であり、デザイン思考の領域拡大から生まれたものであると述べました ([00:58:24](#))。また、佐野和哉は、安部和音に特定の書籍や専門家であるゆかりさんのワークフローを参照することを推奨しました。
- ホテルの外観パースとバーの計画 Loujuは、高橋英信にホテルの外観パースの夜バージョン作成を依頼し、照明やバーの設置を考慮に入れるよう求めました ([00:57:36](#)) ([00:59:22](#))。安部和音と佐野和哉は、ホテルにバーが設置される計画について話し合い、その場所が既存の建物とは別に前方に位置することを確認しました ([01:00:19](#))。このバーの存在をパースに反映させることの重要性が強調され、CGでの試行錯誤を通じて早期に進めるべきだと意見が出ました ([01:01:30](#))。

推奨される次のステップ

- 高橋英信は、前回のミーティングからまだ何も動けてないため、明日からロゴのバージョン3を作成し、全体のリファレンスを3つ集める。
- 安部和音は佐野和哉がお勧めする本を読みます。
- 高橋英信はホテルの外観の夜バージョンを作成し、照明を置いた状態のパースと、現在外しているバーの黒い部分を置いた状態のパース、そして昼バージョンの作り直したものをまとめて送ります。

Gemini のメモの内容が正確か確認する必要があります。[Gemini がメモを取る方法のヒントや仕組み](#)

Gemini を使用したメモの作成に関するフィードバックを [簡単なアンケート](#)。